
	<h2>メスしか産まないトカゲがいる？！</h2> <h3>イグ・ノーベル賞博士が、おもしろサイエンストークを展開</h3>
と き	2月20日(土) 午後2時～午後3時30分
と ころ	練馬区立生涯学習センターホール(豊玉北6-8-1)
<p>20日、区は、練馬区立生涯学習センター（豊玉北6丁目）で、「科学講演会」を開催した。</p> <p>講師は、2005年に「ペンギンの排泄時にかかる圧力」の研究でイグ・ノーベル賞を受賞したVictor. Benno. Meyer-Rochow（ヴィクトール・ベノ・マイヤーロホ）博士。</p> <p>当日は科学や生物が大好きな小中学生とその保護者約300人を前に昆虫や動物の不思議な生態などについて解き明かした。</p> <p>参加した小学生は、「左右で性別の違う動物がいることが分かってびっくりした。学校では見られないような写真がたくさん見られてよかった。」と話してくれた。</p> <div data-bbox="927 595 1461 994"></div> <p style="text-align: right;">▲ 講演中の Victor. Benno. Meyer-Rochow (ヴィクトール・ベノ・マイヤーロホ) 博士</p>	

【科学講演会 ～生き物っておもしろい！～】

「生き物っておもしろい！」のテーマで、講師から「メスしか産まないトカゲ」や「必ず四つ子を産むアルマジロ」などについての話があった。質疑応答では、講演で各々が興味を持ったことについて絶えず質問が飛び交った。

博士は、日本での研究・教育の経験も豊富で、1981年以降、ほぼ毎年来日し、八丈島で小学生から高校生を対象とする「八丈島サイエンスクラブ」で生き物に関する講演を行っている。そこでの博士の話が面白いと好評であったため、練馬区が開催を要望して、自然科学普及活動等を行う「NPO法人八丈島観光レクリエーション研究会」の協力のもと、今回の講演会が実現した。練馬区では学校での教育以外にも、学校教育支援センターが科学教育の取り組みを行っている。本講演会はこの取り組みの一つとして開催された。



▲ 講演会の様子



▲ 積極的に質問をする参加者



【参考】講師：Victor. Benno. Meyer-Rochow（ヴィクトール・ベノ・マイヤーロホ）博士について

ドイツ・ヤコブ大学教授（生物学）・フィンランド・オウル大学（生理学）、オーストラリア国立大学（学術・理学博士）・ニュージーランド・ワイカト大学南極調査チームリーダー等々。
2005年「ペンギンの排泄時にかかる圧力」でイグ・ノーベル賞を受賞。

【問い合わせ】練馬区 学校教育支援センター 電話03-6385-9911

協力：NPO法人 八丈島観光レクリエーション研究会